

2015年4月号 Vol. 43 (2015年4月1日発行)

せんしゆん



ISO9001:2008認証取得
日本医療機能評価 (Ver.6) 認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



写真提供：七岡内科医院 七岡 聖魏 先生
善峯寺 (京都市西京区)
遊龍の松 (樹齢約600年) と桂昌院お手植えの枝垂れ桜

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

子どもと高齢者が自然に触れ合える

保育・高齢複合施設 友岡

(社会福祉法人 和楽会)

きらら保育園

特別養護老人ホーム
ともおか

デイサービスセンター
花菜



4月オープン!

住み慣れた地域で

多世代交流を通じて

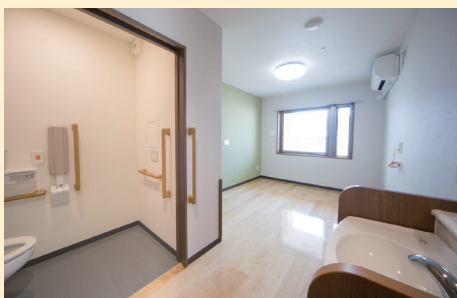
安心して過ごしていただける 地域に開かれた施設を目指してまいります

春の陽あふれる新年度。子どもたちの元気いっばいの声が聞こえる「長岡京市友岡」に、京都府で初めてとなる「保育・高齢複合施設 友岡」が4月のオープンを迎えました。

子どもと高齢者が自然に触れ合える場所、多世代が交流できる場所、文教地域と称される場所。恵まれた立地の中、地域で初めての保育・高齢複合施設として、皆様のご期待に沿えるよう、これからも千春会グループは一丸となって、良質な医療、介護、福祉の提供に努めてまいります。



保育園 プレイルーム



特別養護老人ホームの居室

内覧会 開催

3月23日 吉日



今後に期待を込め 中小路長岡京市長(左) 菊地理事長(中央) 上池会長(右)

開設に先駆けての内覧会が開かれ、地元の関係の方々や学校関係、行政関係の方、医療・介護・福祉に携わっておられる方々など

多くの皆さまにお越しいただきました。

安全かつ機能的に設計された保育室や居室、光あふれるデイサービスなど、皆様からは「素晴らしいですね」との声もいただきました。



多くの方で賑わうエントランス



小田(前)市長と共に

保育・高齢複合施設 友岡 外観



概要

- 5階 デイサービスセンター 花菜
- 4階 特別養護老人ホーム 入居フロア(長岡・平安)
- 3階 ともおか (定員 29名) 入居フロア(平城・恭仁)
- 2階 きらら保育園 (定員 60名)
- 1階 プレイルーム

小児科 クリニック

バンビオ1番館7F(JR長岡京駅前)
ハイパーサーミアクリニック内

安心をサポートする小児科診療

平日受付 21時迄の夜間診療(受付19時~21時)
土曜の午後診療(受付13時30分~17時30分)



夕方、
急に具合が
悪くなった！

発熱だけど、
かかりつけ医院の
診察時間が
終わって
しまった！

高度な医療が必要な場合は、
基幹病院への救急受け入れ体制を整えています。

千春会では、子育て中の皆さまに安心していただけるよう、従来の夜診に加え、土曜日の午後も開院いたしました。

かかりつけの小児科が終了した後、お子さまの急病に対応できる小児科が少ない狭間の時間帯に診療時間を設定するなど、「子育て不安」の軽減に努めています。

第一日赤・第二日赤・京都鞍馬口医療センターなどの協力を得て、臨床経験豊富な小児科の先生方に診察を担当していただいております。

小児科 ☎ (075) 958-6310

受付時間

月曜日～金曜日 19時00分～21時00分
土曜日 13時30分～17時30分

8月もお盆休みはありませんので、一年を通じて安心です。

★ 連携病院 ★

第一日赤・第二日赤・京都鞍馬口医療センター 他

ご報告

新任常勤ドクター紹介

新任のご挨拶

外科 / 肛門外科



おかしら たつお
岡空 達夫

プロフィール

<略歴>

昭和48年 大阪大学医学部卒業
昭和48年 大阪大学医学部第一外科
昭和49年 兵庫医科大学病院第一外科
昭和53年 兵庫県立こども病院外科
昭和54年 兵庫医科大学第一外科
昭和60年 モナッシュ大学(オーストラリア) 客席研究員
昭和63年 兵庫医科大学第一外科講師
平成5年 岡空肛門科開設
平成27年 千春会病院
<資格・所属学会>
日本大腸肛門病学会指導医
日本大腸肛門病学会 理事、評議員
近畿肛門疾患懇談会世話人代表

この度、千春会病院の外科・肛門外科を担当する医師として着任いたしました岡空達夫と申します。

私は兵庫医科大学外科で小児外科を中心に消化器一般外科の講師として勤務しておりましたが、平成5年に肛門科の専門医療施設「岡空肛門科」を吹田市江坂地区に開設。出来るだけ苦痛が少なく、早期の社会復帰が可能となる肛門疾患の診療を目指し努力してきました。

その間、学会(日本大腸肛門病学会)や各地の肛門病懇談会にも積極的に参加するなど研鑽を積み、痔核に対する「ALTA注射療法」、痔瘻には「シートン法」、慢性裂肛には「振り分け結紮法」というメス要らずの切らない手術などを習得。さらに手術後の痛みを軽くする注射を手術終了時に加えるなど、数々の工夫を加えてまいりました。

現在は、学会の専門医・指導医の資格はもとより、役員(理事、評議員)を務めております。

千春会病院では、これまでの知識の集積と経験をもとに、外科・肛門外科を中心とした良質な医療・介護を通じて、地域社会の発展に尽くしていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

外来担当日・受付時間 外科・肛門外科

月曜 13:30~16:00 水曜 8:00~12:15 木曜 17:00~19:45

トピックス 学びと実践でより良質を目指し

講演会開催 平成27年2月16日/3月5日 於 千春会病院

千春会では、医療・介護に関わる著名な先生方にご講演いただくなど、様々な学びを通じて、より良質なサービス提供につなげるよう、職員一同研鑽を重ねております。

今年は、慶應義塾大学大学院 田中 滋名誉教授、ならびに大阪大学臨床医工学融合研究教育センター 井上 善文教授をお招きして、医療・介護の現状や最新情報などをご講演いただき、多くの知識を得ることができました。

このような貴重な学びを地域の皆さまに還元すべく、しっかりと取り組んでまいります。

慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 田中 滋 名誉教授

2/16

昨年に引き続き、今年は「介護報酬改定を読み解く」と題して、介護報酬改定の背景や医療と介護の現状理解などをご講演いただきました。国の政策も含めたマクロの視点に始まり、病院、施設、在宅といった医療・介護の中で、介護報酬改定の意味をどのように関連付けて理解していくのかということの詳細に解りやすくお話いただきました。「在宅生活の安心感を支える医療と介護」「地域密着型サービスの充実」をはじめ、今後は「地域単位」がキーワードとなり、「看取り」や「リハビリテーション」「訪問」などを総合的に展開するサービスが求められ、今よりさらに「機能」に対する評価がなされること。そして2025年※

に向けては経営・運営状況により、一層の淘汰が進むとのご教示をいただきました。当法人については、「政策としての方向性



システムを解説される田中教授

と合致した展開をしっかりとしており良質な医療・介護に取り組んでいる法人である」と締めくくっていただきました。

※2025年は、団塊の世代が75歳以上となり、高齢者人口がピークを迎える年です。これまで国を支えてきた団塊の世代が給付を受ける側に回るため、医療、介護、福祉サービスへの需要が高まり、社会保障財政のバランスが崩れる、とも指摘されています。

大阪大学臨床医工学融合研究教育センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門

特任教授 井上 善文 教授

3/5

「栄養療法の威力を実感したことがありますか」をテーマに、井上教授が提唱される「患者さんたちのためのNST活動」「栄養療法の重要性」などをご講演いただきました。

日本の栄養療法について、「機材や製剤は確かに発展してきているが、医療従事者のレベルは同様に向上しているのか」と問う調査結果をもとに、医療従事者は、もっと基本的な栄養療法の知識を得るべきであると示していただきました。

「医療従事者一人一人が患者さんの事を考

えれば、栄養管理の重要性は自ずからわかり、適切な栄養管理を行えば、状態は改善する。今こそ、診療



質問に笑顔で回答される井上教授

報酬や医療機能評価を得るためだけでなく、本当の意味で栄養療法の重要性を認識し、全ての病院でNSTを設立すべきである」と締めくくられ、難しい研究内容を終始ユーモアを交え、楽しくご講演いただきました。

NSTとは 入院患者さんの栄養状態を評価し、適切な栄養療法を提言・選択・実施するもの。
NST(栄養サポートチーム)医療チームメンバーとは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士など多職種で構成されており、当院でも積極的に取り組んでいます。

グループホーム併設 介護複合施設 今里

いよいよオープン!

住み慣れた地域で、地域とのつながりを大切に

「介護複合施設今里」では、グループホームの良さを活かして、お一人おひとりの「想い」をさらに大切にしたいサービスを提供いたします。「自分がしたいこと」「自分ができること」利用者さまのそんなお気持ちを引き出せるように、寄り添っていきたく存じます。

いよいよ、介護複合施設 今里が4月にグランドオープンを迎えます。

今里では、介護予防、認知症予防などに特化したサービスを提供することで、お一人おひとりに沿った毎日を過ごしていただけるよう配慮いたします。

また、眺望の良い施設の窓からは、広がる田園や遠くに見える山、家々の眺めなど、四季の美しさを感じることもできます。

グループホーム、デイサービス共に、地域との交流などを大切にしながら、ご自宅と変わらぬ環境の中で、「自然な形での暮らし」を継続していただけるよう努めます。



準備が進むグループホーム居室とフロア



オープン間近の施設外観

概要

- 4・5階 グループホーム 小春 (各階 9名)
- 3階 認知症対応型デイサービス 羽根車 (定員 24名)
- 2階 通常型デイサービス 今里 (定員 35名)
- 1階 事務所

今里 ニュース

ご報告

ハイパーサーミアクリニック 開院 5周年記念

平成22年1月に開院した「ハイパーサーミアクリニック」は、今年5周年を迎えました。

ガンの温熱療法（ハイパーサーミア）の第一人者である近藤元治院長（京都府立医科大学名誉教授）を中心に、放射線科、検査科、管理部など多職種が関わり、ガンでお悩みの方々の一助となるよう、チームワークで接してまいりました。

「副作用の少ない」「体に優しい治療法」として、全国で100台程度という希少な機械を2台導入しての開院でしたが、現在は千春会病院との連携を密に、「腹水治療」の一つである「KM-CART（腹水濾過濃縮再静注）」なども含め、前向きな緩和医療として地域の方々はもとより、全国から治療に来院されています。

これからも多くのガン患者さんの支えとなるよう、近藤院長の「がん治療は、絶対あきらめないで！」という言葉に胸にスタッフ一丸となって努めてまいります。



菊地理事長(中央左)と近藤院長(中央右)を囲むスタッフたち

ハイパーサーミアクリニック ガン温熱療法 副作用の少ない 身体に優しい治療法
バンビオ1番館7F (JR長岡京駅前)

歳時記
1

きょうと福祉人材認証取得

「安心して働ける福祉の職場」として
京都府より認証

京都府では、福祉業界の理解を深めるとともに、人材の育成・定着に積極的な法人、事業所であることを認め、求職者に安心できる情報を伝えるための取り組みをはじめています。

千春会は、京都府の審査を受け、「きょうと福祉人材認証」を取得いたしました。若い方も年配の方も、安心して長く勤務するためには「やりがい、生きがい、働きやすさ」が感じられる職場を選択することが大切です。

千春会グループの「医療法人社団 千春会」「社会福祉法人 和楽会」共々に、「安心して働ける職場」として認められ、認証式では京都府健康福祉部山口部長より法人に認定書が手渡されました。

これからも、グループに働く多くの職員が、様々な方々の力になり、共に生き活きと働ける職場であるよう、継続発展させてまいります。



認定式で健康福祉部山口部長より認定証を受ける
山田総務部長

きょうと福祉人材認証制度とは

京都府が、研修制度や働きやすさなどについての項目チェックを行い、審査にクリアした事業所を「安心して働ける職場」として紹介する制度です。

新人教育の充実、未来を描ける職場、社員を大切にできる職場、外部との交流に積極的などの4分野 17項目のチェックポイントについて、書類、現地確認、ヒアリングなどの審査を経て有識者会議で決定されます。認証事業所は、京都府より認定書が授与され、京都府のホームページなどでも紹介されます。



…地元のみなさんとともに



歳時記
2

生活リハビリテーション説明会

川淵陽平 支援相談員 (介護老人保健施設 春風)
が実施効果の結果を発表

京都府介護老人保健施設協会主催の説明会にて老健春風の川淵支援相談員が「地域包括ケアにおける老健の役割」と題してご家族や地域の方々、関係者の方々を対象に発表しました。在宅と病院をつなぎ、リハビリを担う中間施設である老健について説明し、在宅復帰に関わる、リハビリ、介護、看護などの多職種連携を実例の中で発表しました。さらに、今後、期待される「老健の役割について」は、医療、看護、介護、リハビリの融合を深め、地域、行政との連携をもって、高齢者の方々にとって最善のケアの提供に取り組むことをお伝えしました。



発表中の川淵相談員

歳時記
3

長岡京市主催
「長岡京市民のための
就労準備バスツアー」に協力
「介護老人保健施設 春風」見学

長岡京市では、市民の方々に、就労につなげていただくことを目的としたバスツアーが開催され、職場見学先として「老健春風」へ申し入れがありました。みなさん熱心に見学され、法人職員の話にも耳を傾けておられました。施設規模や働く職員の姿から、就労の第一歩につながればと、ご協力させていただきました。



説明中に入谷マネージャー(左)

編集後記

今号表紙は、善善寺。「遊龍の松(天然記念物:樹齢約600年、全長37m)」と、桂昌院お手植えの枝垂れ桜。老いてなお重厚な存在感の「松」は人の年輪、その傍らで風に揺れる小さな花々は、子どもたちの遊ぶ様にも似て。さながら春始動の「保育・高齢複合施設」を見るようです。千春会グループは、「生き」「活き活き生き」「逝く」までをしっかり支えてまいります。「遊龍の松」のように長く、永く、龍の如く勢いを持ち、いつまでも…。(弘) 表紙写真: 元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615